

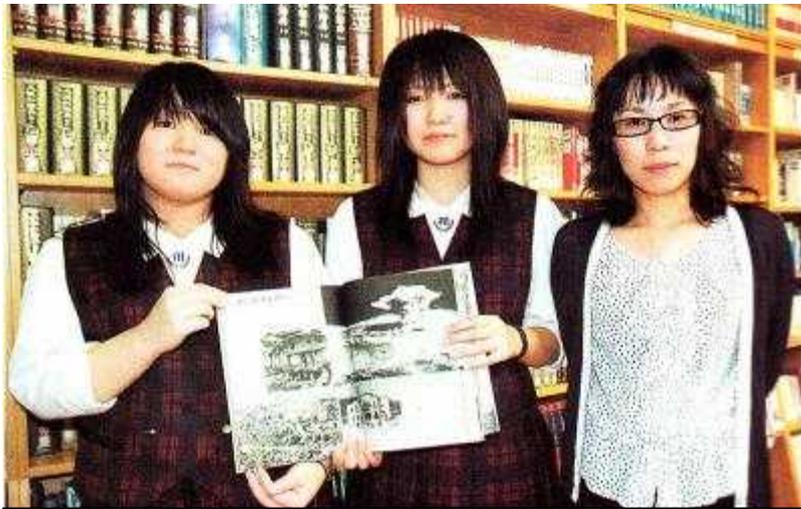
# 原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月23日 No.12 国際会議まであと10日

## 最後の卒業生、平和の使者として広島へ!

北海道・留萌原水協、管内から10年ぶりに高校生派遣!



広島への原爆投下に関する本を手に「現地で見聞きしたことを同世代に伝えていきたい」と話す(左から)工藤さん、田端さんと田原教諭

『北海道新聞』7月20日付留萌・宗谷のページに、留萌原水協の世界大会代表派遣の記事が載りました。記事によると、留萌原水協は留萌管内代表として本年度で閉校する増毛高校の生徒と教諭計3人の派遣を決め、そのための募金活動を始めているとのことです。

3人は3年生で生徒会副会長工藤佳奈子さん(17)と書記の田端瑞穂さん(17)、顧問で社会科担当の田原史子教諭(36)。生徒2人は被爆地広島の訪問を希望するなど普段から平和問題に関心を持っています。約10年前に大会に参加した田原教諭は授業を通して平和教育に力を入れています。

留萌原水協は今年5月のNPT再検討会議に向け、管内で反核署名活動を行い、目標の3千人を上回る約3800人分を集めました。平和への機運を盛り立ててもらおうと最後の卒業生となる2人の派遣を決めました。

2人は「交流を深めるとともに、教科書でしか知らない被爆の実態について原爆ドームなどを見て被爆者の生の声を聞きたい」と意気込んでいます。

## 【連載】原水爆禁止2010年世界大会プログラム紹介

国際会議2・3日目(8月3・4日、火・水)

8月3日(火)

9:30 政府代表あいさつ

ムハンマド・シャルル・イクラム

(国際原子力機関マレーシア代表理事/国際原子力機関理事会議長)

9:45 - 10:30 第2セッションの質疑・討論

第3セッション(10:30 - 12:30)

被爆の実相の普及、ヒバクシャ援護・連帯

10:30 - 11:30 導入発言

パク・チャンギル(韓国原爆被害者協会 前副会長)

アバッカ・アンジャイン・マディソン(マーシャル前上院議員)

ポール・アーポイ(フィジー核実験被ばく復員兵士の

会 副会長)

ロシア・チェリャピンスク核被害者支援団体

アメリカ・ネバダ核実験場風下住民

11:30 - 12:15 質疑・討論

12:15 - 14:00 昼食休憩

分科会(14:00 - 18:00)セッションテーマに基づく分科会

8月4日(水)

閉会総会(9:30 - 11:00)

9:30 遅れて到着した代表の紹介、発言

ロバート・グリーン(ニュージーランド 英国海軍退役司令官/平和基金軍縮安全保障センター)

9:45 分科会報告/科学者集会

10:25 宣言の提案と採択 起草委員長

10:55 閉会あいさつ 議長団



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>  
携帯電話からもアクセスできます。